

わ かい かん
分 かる と 快 感 !

Z会ナビ

算数

理科

▶ 歴史

地理

お題

江戸幕府が求めた、 大名と天皇の役割とは？

(東京大学 2013年 日本史)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

次の文章を読んで、江戸幕府は、大名と天皇にそれぞれのどのような役割を求めたと考えられるか、説明しなさい。

(1) 江戸幕府は、1615年に豊臣氏を滅ぼした後、伏見城に大名たちを集めて武家諸法度を読み聞かせた。その第1条は、大名のあるべき姿として「文武弓馬の道、専ら相嗜むべきこと」とあった。

(2) 次に幕府は、天皇と公家たちに禁中並公家諸法度を示した。その第1条は、天皇のあるべき姿として「第一御学問なり」と述べ、政治のあり方を示した中国の書物や、平安時代の天皇が後継者に遺した書物を例にあげた。

今回の問題は、江戸時代の初めごろのお話です。織田信長や豊臣秀吉が活躍した戦国時代を経て、ようやく全国に力が及ぶ幕府を開いた徳川家康が、どのように政治の基盤を築いていったのかに着目して見ていきましょう。

大名に求められた役割

群雄割拠の戦乱の時代を終わらせたのは、豊臣秀吉亡き後、全国の有力大名を巻き込んで起きた関ヶ原の戦いでした。この戦いは徳川方の勝利に終わり、家康は天皇より征夷大將軍の任を与えられ、幕府を開くことになりました。

そのときに、まず心を砕いたのは大名たちとの関係です。戦乱の時代には、下の者が上の者を倒すことがしばしばあり、下剋上と呼ばれましたが、それをされては江戸幕府もたまったも



イラスト・瑞木匠

武芸と学問に 励むこと

のではありません。そのため、下の者には徹底した服従を命じ、少しでも怪しい動きをした大名には厳罰が下されました。

問題文(1)にも、そのような姿勢が現れています。大名たちに、武芸に励むことを強調することで、何かあった際には幕府軍の一員として働くよう、徹底服従を命じています。それはすなわち、幕府に逆らった際には全国の大名も敵に回すことになることもまた、示しているのです。

天皇に求められた役割

一方、幕府は天皇とも絶妙な関係を維持することが必要でした。天皇の権威が強くなりすぎると幕府の地位が危うくなります。とはいえ、家康は「征夷大將軍」という身分を天皇から与えられ、権威付けられていますので、ないがしろにすることもできません。

そこで考えられたのが問題文(2)のようなあり方です。平安時代までの貴族社会では、歴史や古典などの学問はもっとも重んじられたものでもありました。幕府は、天皇の第一の役目は学問に励むことであるとし、政治の世界から締め出す一方で、貴族社会で重んじられていた学問をその役割とすることで、伝統的な権威を守り、幕府の地位を権威付けることも天皇に求めたのです。

江戸幕府が約250年もの長きにわたり栄えた背景には、このような細やかな配慮があったのですね。【Z会・河原井彩】

! 今回の教訓
武家諸法度はこのあと何度か改定されます。読み比べてみると、大名に求められる役割が時期により変わっていくさまがわかります。

河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を経て、現在はデジタル技術を使った未来の教材を考えています。新潟県生まれの埼玉県育ち。